

2022年度 つむぎ 宮下ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について	
体制設備・環境について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。	3.9	ご利用者様に気持ちよくご利用いただくために、日々の清掃を怠らず、整理整頓を心掛けてまいります。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.1	スタッフ一人ひとりがスキルをあげるとともに、ルーム内で学びの場を設け、専門性の向上に努めてまいります。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	2.9	日々の動向を視覚化し、事務時間の確保ができるように支援の調整をいたします。
	Q5	ルーム内の環境や支援員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		専門士同士の学びの場を設けたり、法人内研修を活用しスキル向上に努めてまいります。
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	3.4	職員一人ひとりが働きやすい職場を目指し、日々の業務の振り返りを意識できるように努めてまいります。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.1	アンケートの結果を共有し、ご意見やご要望を日々の支援に反映させてまいります。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.0	カフェスペースに掲示、他法人ホームページで公開しております。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3.6	第三者評価は未実施ですが、内部監査を年に2回実施しており、法人のガイドラインに則った正しい運営を心掛けております。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.7	法人実施のスキル講座やWEB講座に参加する機会を設けております。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		スタッフ間のコミュニケーションをこまめに取り、問題を素早く解決できるように努めてまいります。
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.0	ルーム共通のアセスメントツールを活用できればと考えております。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	3.4	アセスメント後、一人ひとりのケースを話し合う時間をしっかりと設け、お子さまの発達がどの段階にあるかしっかりと見極め、課題設定を行っております。
	Q14	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	3.3	個々の支援目標に沿った活動がなされているか意識しながらプログラムを計画、実施できるように努めてまいります。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.3	つむぎ宮下ルームならではの環境を生かした体験や活動を提供できるように、スタッフそれぞれがアイデアを持ち寄りながら、様々な活動を提案できるように努めてまいります。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.3	朝礼、夕礼にて日々の情報共有や、お子さまの様子によっては連携をはかり対応できるようにそれぞれの担当や動きをしっかりと確認しております。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	3.9	毎日の振り返りや、ケース検討、事務連絡などをしっかりと行い、支援の質の向上につなげてまいります。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	3.9	支援内容、保護者様とお話はしっかりと記録し、情報を共有しながら支援にあたることを心掛けてまいります。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていますか。	3.6	定期的にモニタリングを実施し、適用期間内に個別支援計画が提示できるように今後とも努めてまいります。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	4.1	児童発達支援ガイドラインに沿って、様々な活動を組み合わせながら支援に取り組むように努めてまいります。
	Q21	適切な支援の提供について、ご意見をお聞かせください。		
	保護者との関係機関について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.1
Q23		所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	4.1	関係機関連携加算の制度を利用し、所属園との連携を提案してまいります。電話を利用し、こまめに情報を共有できるようにいたします。
Q24		児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に務めているか。	4.1	協議会や連携会議の情報を収集し、参加できるように動いてまいります。
Q25		児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	4.1	セルフプランでの利用者が多いので、多くの情報を集めお伝えできるように努めてまいります。情報更新も意識してまいります。

保護者との関係機関について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	2.9	地域の児童発達支援センターや専門機関と連携し、情報共有や助言を頂いております。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	2.4	市内、近隣市の子ども部会などへの参加を積極的におこなえるように努めてまいります。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	4.7	宮下どろんこ保育園と併設している環境を活かし、子ども同士の関わり合いの中で成長できる機会をさらに充実させていけるように努めてまいります。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	4.6	地域子育て支援センターちきんえつぐと連携し、地域の皆様を巻き込んでのイベントの企画、実施をしております。
	Q30	保護者の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	3.9	受け入れ時や保護者の様子から、こまめにお話を伺い、ご自宅での様子やお子さまへの対応の様子を見させていただき、その都度適切なアドバイスができるように努めてまいります。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	3.9	安心してご利用いただけるように、丁寧にわかりやすい説明を心掛けてまいります。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.0	都度、保護者様のご相談に応じております。場合によっては「事業所内相談支援加算」の制度を利用し、面談を実施しております。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	3.6	安心にご参加できるように、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、保護者のイベントを企画、実施しております。
	Q35	子どもや保護者からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.4	ご意見を頂いた際は、早急にスタッフ間で共有し、真摯に対応させていただきます。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者に対して情報を発信できているか。	4.6	イベントの数日前に、配布文書や掲示をしております。活動の様子をブログにて掲載しております。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.3	日々の支援の振り返りの中で、相手にわかりやすく伝えることができるように努めてまいります。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.4	パソコンは個人ログインIDとパスワードにより管理されており、第三者が開くことができない仕様となっております。個人記録は鍵付きの書庫に保管しております。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	3.7	朝礼、夕礼で情報共有を行っております。業務日報への記載もしっかりと行い、確認するように努めてまいります。
	Q40	保護者や子どもへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		
	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	3.9	法人共通の各種マニュアルがございます。園内研修で定期的に読み合わせを行いロールプレイをするなど緊急時にスムーズに対応できるように努めてまいります。
非常時の対応について	Q42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.1	毎月1回、併設している宮下どろんこ保育園と合同で、様々な状況を設定した避難訓練を実施しております。
	Q43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	3.9	スタッフの研修を実施し、一人ひとりの意識を高めてまいります。
	Q44	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.4	ヒヤリハット報告書に記載し、共有を行っております。様々な場面でのヒヤリハットを取りこぼすことなく気づくことで、怪我や事故につながることを防ぎ、お子さまが安全に活動できるように努めてまいります。
	Q45	非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		
	Q46	子どもはつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.4	お子さまが楽しく通えているという多数のご意見を頂戴いたしました。今後も一人ひとりのお子さまに寄り添った温かい支援が提供できるように、精進いたします。
満足度について	Q47	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	3.7	子どもたちの成長を感じる場面やエピソードを保護者とも共有し、一緒に喜べるようにこれからも努めてまいります。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		

アンケート実施期間:2022年8月12日~9月5日
全回答数 : 7

つむぎ 宮下ルーム
施設長 小坂 美保子